

編集後記

今年度より、ITセンターで発刊される冊子は「ITセンターフォーラム」から「インフォメーションテクノロジーセンター年報」に変更されました。従来ではITセンター委員の方を中心にし、ITに関連する研究成果、教育事例、技術情報等を掲載してきていましたが、1冊の中に幅広い内容の論文が掲載されていたため、必ずしも方向性の一致する内容となっていませんでした。今後は学内の教員から広く、原稿を募ることとしており、ITに関する技術、ITを利用した教育方法を中心に原稿を掲載する方向でいます。インフォメーションテクノロジーセンター年報が教職員の皆様の教育や研究に役立てる機会があればと考えています。

この1年を通して、ネットワーク技術、とくに無線環境の発展は凄まじく、iPhone, iPad, アンドロイド OS を中心とするスマートフォンが普及し、そのアプリケーションや利用方法などもあわせて発展しています。無線環境の発展により、我々は情報の発信・受信をいつでもどこでも容易に、気軽に行うことができるようになりました。有線環境でもその伝達速度の向上とコンピュータのパフォーマンスの向上により、大量に多様なデータを取り扱うことが出来てきました。また、多様なデータベースの構築とともに、googleに見られる高速で、的確、詳細な検索機能の発展により、コンピュータの前に居ながらにして知りたい情報を即座に手に入れることができます。

その一方で、その気軽な情報利用の引き換えにセキュリティが大きな問題となっています。実際、学内においてもこの1年間でセキュリティに関するトラブルが多数生じています。たとえば、学生成績情報の流出、不正アクセスによる音楽データのダウンロード、Webサーバーの乗っ取りによるショッピングモールへの攻撃など、これらの多くは利用者の不注意や運用に対する認識不足が大きな要因となっています。ちょっとした不注意な行動や大げさに考えていなかった行動でも、その後、大きな問題となるケースも多く、場合によっては大学の責任問題となります。新聞等で大きく報道され、世間に対して大学のマイナスイメージを与えることになり、その影響は学生にも及ぼすことになります。

ITセンターではトラブルの発生ごとに対応策を検討し、今後同様な問題が発生しないよう、情報システムの改良や新システムの導入を行っています。しかしながら、利用者の利便性を確保しつつ、情報システムの利用に制約を課すことには限界があり、最後は利用者本人による意識に頼らざるおえないところがあります。学内の情報システムの利用において教職員の皆様には不便をかける機会も多いと思いますがご理解頂くとともに、セキュリティにつきましては十分気をつけてご利用頂きますよう宜しくお願い致します。また、学内の情報システムにつきまして、ご意見、ご要望がございましたら、ITセンター事務もしくは各学部選出のITセンター委員にご相談下さい。

最後になりましたが、今号にて執筆を賜りました諸先生方や職員の皆様方に厚くお礼申し上げます。今後とも、ITセンターでは教職員の皆様との結びつきを強く持たせ、学内の情報環境を有意義なものにしていきたいと考えています。

これからも皆様方のご支援、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

2011年3月

(ITセンター副所長 荒川 雅裕)